運送約款

株式会社 アーク急便

第1条（運送業務について）

株式会社 アーク急便（以下当社といいます）はバイク便事業（二輪の自動車を使用する貨物軽自動車運送事業）またはそれに附帯する事業を行います。

第2条（適用範囲）

- 1、当社の行うバイク便事業に関する運送契約は、この運送約款の定めるところにより、この運送約款に定めのない事項については、日本国の法令に準拠します。
- 2 当社は、前項の規定にかかわらず、法令に反しない範囲で、特約の申込みに応じることがあります。

第3条（荷物について）

- 1、当社が運送業務委託の際の荷物の規定は次の通りと致します。
 - (1) 荷物の重さ、大きさはそれぞれ 20kg、幅 35cm×高 35cm×長 50cm まで。
 - (2) 荷物の梱包が運送に適さない時は、依頼主の負担により必要な梱包を行っていただきます。
 - (3) 貨紙幣、有価証券、金銀、美術品、骨董品、貴金属、郵便法に基づく信書、壊れやすい物はお取引扱いできません。
2. 上記の不備、規定を超える重さ、大きさの荷物による損害に対しては当社は一切の責任を負いません。

第4条（引受拒絶）

- 当社は、次の事柄に該当する場合には、運送の引受けを拒絶することがあります。
- (1) 運送の申込みが、この運送約款によらないものであるとき。
 - (2) 荷造りが運送に適さないとき。
 - (3) 当該運送に適する設備がないとき。
 - (4) 運送に関し、荷送人から特別の負担を求められたとき。
 - (5) 信書の運送等運送が法令の規定又は公の秩序若しくは善良の風俗に反するものであるとき。
 - (6) 荷物が次に掲げるものであるとき。
 - ア、 火薬類その他の危険品、不潔な物品等他の荷物に損害を及ぼすおそれのあるもの
 - イ、 その他当社が特に定めて表示したもの
 - (7) 天災その他やむを得ない事由があるとき

第5条（運送業務について）

運送業務の委託契約は、顧客が当社の定める「配送伝票」に運送業務内容（送り先、宛名、送付条件等）を記入しこれを顧客の指定する場所で引き渡すことによって契約の申し込みとし、当社がその承認の証として、当該送り状の一部に署名又は捺印して顧客に返還することにより成立するものと致します。

ただし、契約が成立した後であっても、第3条に定めてある荷物以外の物、危険物、配送不適物等が混入していることが判明した場合は、それらについて当社は契約上の義務を一切負担しないことが出来るものとし、当社は責任義務を負いません。

第6条（運賃等の收受）

- 1、当社は、荷物を受け取る時に、国土交通省大臣に届け出た運賃を收受します。尚、配送料金は経済変動により改定することがあります。
- 2、委託料金は、原則として委託契約の申込依頼と同時に支払いいただきます。尚、銀行振り込みの場合、手数料はお客様の負担とさせていただきます。ただし、当社との間で運送業務委託基本契約を締結している顧客の場合、委託料金の支払方法は別途定めさせていただきます。
- 3、当社は、依頼主の運送中止、若しくは配送先変更の指示に応じた場合には、中止、変更の指示が依頼主の責に帰することのできない事由による場合を除いて、中止、変更手数料を請求することがあります。但し、当社が車輛の手配を行う前までに運送が中止された時は、この限りではありません。

第7条（業務委託契約解除について）

当社は顧客の債務不履行、当社に対する偽りの申し出等を理由にいつでも運送業務委託契約を解除することができるものといたします。

また、当社は顧客に対し、解除の有無に関わらずこうむった損害の全部につき賠償を請求しうるものといたします。

第8条（責任について）

当社は、使用人その他運送のために使用した者が、荷物の受取、引渡し、保管及び運送に関し注意を怠らなかったことを証明しない限り、本約款に別段の定めがある場合を除き荷物の滅失、毀損について損害賠償の責任を負います。

8-1（免責）

当社は、次の事由による荷物の滅失、毀損による損害については、損害賠償の責任を負いません。

- (1) 荷物の欠陥、自然の消耗又は滅損
- (2) 荷物の性質による発火、爆発、むれ、かび、腐敗、変色、さびその他これに類似する事由
- (3) 同盟罷業若しくは同盟怠業、社会的騒擾その他の事変又は第3者による行為
- (4) 不可抗力
- (5) 予見できない異常な交通障害
- (6) 地震、津波、高潮、大水、暴風雨、地すべり、山崩れその他の天災
- (7) 法令又は公権力の発動による運送の差止め、開封、没収、差押え又は第3者への引渡し
- (8) 依頼主が記載すべき送り状の記載事項の過誤若しくは欠落その他依頼主又は荷受人の故意又は過失

8-2（損害賠償の額）

当社は、荷物の滅失による損害を賠償すべき場合、荷物の価格（発送地における荷物の価格をいいます。以下同じ。）を送り状に記載された責任限度額（以下「限度額」といいます。）の範囲内で賠償します。限度額はいかなる場合においても100万円を超えないものとします。

2 当社は、荷物の毀損による損害を賠償すべき場合、荷物の価格を基準として毀損の限度に応じ限度額の範囲内で賠償します。

8-3（時効）

当社の責任は、荷受人が荷物を受け取った日から1年を経過した時は、時効によって消滅します。

2 前項の期間は、荷物が滅失した場合には、荷物引渡予定日からこれを起算します。

8-4（連絡運輸又は利用運送の際の責任）

当社が他の運送機関と連絡して、又は他の貨物自動車運送事業者の行う運送若しくは他の運送機関を利用して運送を行う場合においても、当社の運送上の責任は、この運送約款によるものとします。

8-5（損害賠償に基づく代位）

当社が荷物の価格の全額を賠償した時は、当社は当該荷物に関する一切の権利を取得します。

第9条（個人情報運送業務について）

主に個人情報を扱う配送（以下セキュリティ便）に関しては以下の内容を追加します。

9-1（荷物について）

1、セキュリティ便の荷物の規定は次の通りとします。

(1) 荷物の重さ、大きさはそれぞれ15kg、幅33cm×高6cm×長23cmまで。

(2) 個人情報を含む書類、磁気ディスクのみ。

2.上記の不備、規定を超える重さ、大きさの荷物による損害に対しては当社は一切の責任を負いません。

9-2（荷物の引渡し）

配送の性質上、原則として荷受人のみと致しますが、依頼人の指示がある場合はこの限りではありません。

9-3（個人情報漏えいによる損害賠償）

当社はセキュリティ便を利用し、荷物の紛失により個人情報が漏えいした場合、

当社の提携する保険会社との契約の範囲内で賠償します。